

# 子ども靴寄贈の チヨダに感謝状

## 県社会福祉協議会

県社会福祉協議会(山口宏樹会長)は、さいたま市浦和区の彩の国すこやかプラザで、靴の専門店チエーンを全国で展開するチヨダ(本社・東京都杉並区、杉山忠雄社長)から新品の子ども靴214足が寄贈されたことに対し、感謝状を渡した。

式典には県社協の上木雄二副会長、チヨダの吉山真由美人事総務部長、安立邦広物流室長らが出席。県社協と県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会が共同実施している「衣類バンク事業」で活用するほか、学習支援教室などでも使うことを伝え、上木副会長から吉山部長に感謝状が贈られた。

衣類バンク事業は、日常生活で困難を抱える子育て世帯や母子・父子家庭などに、無償で衣類や靴などの提供を

行っている。コロナ禍での収入減により支援を希望する問い合わせも増えているという。

上木副会長は「子どものいる困窮世帯は多く、就学援助さえ受けられない家庭もある。そのような家庭に衣類バンク事業をお知らせし、子どもたちを見守っている大人が地域にたくさんいることを子ども



株式会社チヨダ様から困窮世帯への靴贈呈式

寄贈された子ども靴を前に、贈呈式に出席した県社協職員とチヨダ社員。さいたま市浦和区の彩の国すこやかプラザ

たちに伝え、安心感やメッセージも届けたい」と報告し、衣類バンク事業の広がりに向けた期待を込めた。

衣類バンク事業事務局(県社協生活支援課)は、衣類の在庫が少なくなっていることから、個人・法人に限らず、子ども服(新品か未使用のもの)の寄付を募集している。問い合わせは、同事務局(☎048・822・1249)へ。(高梨肇)